

【BMS 専攻シラバス】

授業科目名	薬物治療学特論			授 業 形 式	講義	
配 当 年 次	修士 1 年次	単 位 数	2 単位	選 択 ・ 必 修	選択必修	
コーディネータ	矢野育子	曜日・時限	前期 火曜日 17:00～20:00			
担当分野名	薬剤学、薬理学					
担当教員名	矢野育子、大村友博、山本和宏、古屋敷智之、坂根稔康、北川裕之、中村 任、松本浩彦					
学習到達目標	薬物治療の分子メカニズム、薬物の分子設計およびゲノムとの関係、薬物投与設計、医薬品の開発など、基礎研究の成果を臨床の薬物治療に生かす方法論や実例について学ぶ					
授業の概要		日付	時間	場所	演習内容	担当者
	1)	5/14 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	脳への薬物送達:いかにしてBBBを克服するか/確認テスト	坂根
	2)	5/21 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	医薬品開発及び個別化治療におけるファーマコメトリクス/確認テスト	矢野
	3)	5/28 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	糖鎖合成異常による疾患と治療/確認テスト	北川
	4)	6/4 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	小胞体ストレスを起因とする疾患と治療戦略:パーキンソン病を中心に/確認テスト	大村
	5)	6/11 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	分子標的薬を知る/確認テスト	松本
	6)	6/18 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	抗がん薬の有効性・安全性におけるゲノム薬理学的研究/確認テスト	山本
	7)	6/25 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	精神疾患創薬を目指した基礎薬理学研究/確認テスト	古屋敷
	8)	7/2 (火)	17:00～ 20:00	第2講堂	がん化学療法時の薬物体内動態とバイオメタル情報について/確認テスト	中村
	9)					
	10)					
履修上の注意 (準備学習・復習、関連科目情報等を含む)	疾病原因の基礎と薬物治療の実際をテーマにした講義を行い、学生が将来医薬系や食品関連企業に進む場合を想定して薬物治療の基礎的知識を講義する。講義のハンドアウトを作成し、自習の資料とする。準備学習・復習については授業中に追って指示する。					
参 考 書	配付資料中心であるが、その他については各担当教員の指示による。					
成績評価方法 と 基 準	講義への出席状況および確認テストにより総合的に評価し、評価が60点以上となったものを合格とする。講義の内容を十分に理解して知識を取得し、意欲的に講義に参加したと判断できる場合を“優”，その中でもさらに優れたものについては“秀”，講義の内容を十分に理解している者は“良”，講義内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を“可”とする。					
備 考	(メールアドレス) iyano@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー) 矢野育子 (月曜 14 時～17 時)					